

あなたと議会



2014
182号
5月26日発行

紙面で見ると平成25年度の活動報告

市政を問う
議会からあなたへ



■本会議の動画配信を開始しました

より多くの市民の皆さんに議会をご覧いただくため、動画配信サイトYouTube UBEを活用した、議会映像の録画配信をしています。

鹿沼市ホームページの「市議会」バナーより入り、ご覧になりたい内容をクリックすると録画映像を視聴できます。

パソコン以外にもスマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。

動画は本会議終了後、10日程度でご覧いただけます。



平成23年9月に議会基本条例が施行され、その中で市民への説明責任を果たすために、議会の原則公開及び情報公開を進めることになりました。

本会議の動画配信は、その取り組みの一つです。市政の動向や、皆さんが選んだ議員の活動をぜひご覧ください。



鹿沼市議会議長
大貫武男

告!!

議会をめざして

■ジュニア議会開催

8月21日鹿沼青年会議所主催によりジュニア議会を開催しました。子どもたちに議会の仕組みを学んでもらい、政治を身近に感じて、まちづくりに進んで参画しようという意欲を高めてもらおうと企画されたものです。

当日は市内の中学校から26名の生徒が参加しました。ジュニア議員たちは将来の鹿沼市に対する自分の夢や希望、学校や地域の身近な問題について堂々と質問していました。市長、教育長、市側の出席者も、ひとつひとつ丁寧な説明し、子どもたちの思いに応えていました。



常任委員会名	調査研究テーマ
総務	都市交流の推進について（足立区、墨田区、台東区との都市交流について）
環境経済	堆肥化センターの利用促進について
文教民生	医療費の削減について
建設水道	水害防止を目指して取り組む道路、河川の対策等について（水害を受けた市街地等の現状、課題と対策について）

■常任委員会の活動がより活発に
 議会閉会中の継続調査付託を議決しました。これにより各常任委員会が調査研究テーマをもち活動をしています。



■議会報告会・意見交換会開催
 平成25年度は、市内8地区で215名に参加をいただきました。議員が地域に向き、直接議会活動の状況を報告、説明するとともに議会活動に対する意見や、提言を聞く貴重な機会となりました。

紙面でみる

平成25年度の

活動報

より開かれた

更に詳細な活動内容は『議会報告会・意見交換会』で!!

今年度も下記の日程で開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

開催日	開催地区	会場	開始時間
7月4日(金)	中央地区	市役所(302会議室)	午後7時～
7月8日(火)	菊沢地区	菊沢コミュニティセンター	
	加蘇地区	加蘇コミュニティセンター	
7月10日(木)	東部地区	情報センター(子育て情報室)	
7月11日(金)	北犬飼地区	北犬飼コミュニティセンター	
7月15日(火)	南押原地区	南押原コミュニティセンター	
	永野地区	永野コミュニティセンター	
7月16日(水)	南摩地区	南摩コミュニティセンター	
	清洲地区	清洲コミュニティセンター	



※議会報告会・意見交換会終了後、市主催の庁舎整備説明会を行います。

大雪の影響と対策について 伺う



市政を 問う

3月定例会で15人が登壇
鹿沼市政について質問をしました



質問
2月14日から15日に降った大雪は市民生活に多大な影響を及ぼした。被害の状況と市の対応を伺う。

① 林業被害とその対応
② 停電被害とその対応

答弁
今回の大雪を教訓に、早急に具体的な対応を検討します。

① についてシイタケのハウスが39棟、被害金額が約六千三百万円、木材加工施設が8事業所、約二千三百万円の被害がありました。森林倒木は林道や作業道が通行不能のため、全体を確認

できない状況です。前日光高原の森林地帯を抱える鹿沼市としては、林業家の皆さんが意欲を失わないよう、国や栃木県とも連携をしっかりととりながら対応策を今後詰めていきたいと考えています。

② について2月15日の朝から停電が発生し、東京電力の発表では最大三千二百軒の停電があったとのこと。今回のように停電が長引くと、防災行政無線、ホームページ、ケーブルテレビ、災害情報メール等いずれも活用できない事態となりますので、情報の伝達体制を早急に検討したいと考えています。



▲多くの倒木により復旧に大きな影響がありました。



鹿沼フェニックスについて 伺う



質 問
鹿沼フェニックスについて伺う。

①管理・運用状況について
②運用期間について
③整備計画について

答 弁
ごみ減量化を進め、埋立て可能年数を伸ばします。

①搬入物は、焼却灰と破碎残渣（不燃物や粗大ごみから資源物を選別し、細かくしたもの）の2種類の廃棄物です。鹿沼市では、法律の基準より一層あたりの廃棄物を低くして覆土をすることににより遮蔽効果を上げています。



▲鹿沼フェニックス（一般廃棄物最終処分場）

雪害対策について伺う



質 問
雪害に対する自主防災会、消防団への資機材の整備について伺う。また消防団へチェーンソー等を配備する考えはあるか。

答 弁
融雪剤、救助資機材の整備を進めます。

現在、各コミュニティセンターに融雪剤を配置していますが、より有効活用できるように今後は自治会、自主防災会に配置することを検討します。

消防団へはスコップ、金てこ等の簡易な器材を配備していますが、チェーンソー等の配備はしていません。平成26年2月7



▲各コミュニティセンターに融雪剤を配置しています。

②平成23年1月現在で埋立て残余容量は8万7千432立方メートルあり、今後約30年間で埋立て可能年数と考えます。また、市民への更なるごみ排出量削減の啓発や、ごみの資源化方策の検討で一層のごみ減量化を行い、埋立て可能年数を延ばすことができると思います。

③将来、埋立て可能期限がくるのは避けられないことです。現時点の想定では、平成42年頃に第1期計画分の埋立てが完了するので、その時期に焼却灰の新たな処分方法や候補地の検討を始めたいと考えています。

日に改正された「消防団の装備と基準」により、救助活動用資機材としてチェーンソー等を明確に位置づけ、消防団分団へ複数配備するよう拡充されました。

今後、国及び栃木県は、財政上の支援を検討することとされており、その動向を見極めながら、チェーンソー、かんじき等の救助資機材の整備を進めたいと考えています。

NPO (NPO法人) について伺う



質 問

NPOとNPO法人の違いについて伺う。また、支援育成について市の考えを示せ。

答 弁

様々な分野の団体の活動を支援していきます。

NPOは、営利を目的としない、公益に資するサービスを提供する民間の非営利組織です。NPO法人は、NPO団体がNPO法(特定非営利活動促進法)に基づき、市や県等から認証を受け、法人格を取得した団体です。NPOとNPO法人は、事業活動自体に違いがあるのではなく、法人格の有無の違いです。

本市ではNPO活動を初めとする市民活動団体の支援を目的に「かぬま市民活動広場」を設置しています。運営を委託する「NPO法人かぬま市民活動サポーターズ」が市民活動に対する相談、市民活動基礎講座等の開催、実践に向けての人材育成市民活動に対する国、栃木県の助成金情報の提供等の支援をしています。今後も「NPO法人かぬま市民活動サポーターズ」と連携し、様々な分野のNPO団体の活動を支援していきたいと考えます。

NPOとは

「NPO(Non-Profit Organization)」とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称です。収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることになります。

平成7年1月阪神・淡路大震災が発生し、この震災では、市民のボランティア活動が大きな力を発揮し

ました。また、当時、市民団体による福祉やまちづくりなどの地域の課題への取組も広がりを見せていました。このような、市民の自主的・自発的な活動を活性化するための環境整備として、簡便に法人格を得ることのできる法人制度が必要とされ、平成10年3月議員立法によりNPO法(特定非営利活動促進法)が成立しました。

防犯灯LED化事業について伺う



質 問

協働のまちづくり実践版である防犯灯LED化事業の制度設計の考え方を伺う。

答 弁

市民と協働で安全安心なまちづくりを進めていきます。

防犯灯LED化事業とは、自治会等の維持管理の負担軽減、地球環境への配慮を目的に、自治会等管理の市内約6千5百基の蛍光灯防犯灯をLED化する際、1基あたり1万5千円を限度に補助金を交付するものです。1年間に1千3百基を交換し、5年間で完了することを目標に

計画しています。

自治会等が交換、維持管理をする手法をとるのは、市民協働の考え方の市民への広がり、地域の防犯意識や連帯感の醸成、自治会等の自主的な運営が可能になる等を総合的に判断した結果です。

今後も地域の安全は地域で守るといふ認識のもと、市民と協働で安全安心なまちづくりの鹿沼モデルの一つとして進めていきます。



▲防犯灯のLED化を進めます。

荒井 正行 議員

発達支援の体制について
伺う



質 問
発達障がい及び発達障がいの可能性のある子供への支援について伺う。またデージー教科書の使用について所見を伺う。

答 弁
途切れない支援が必要と考えます。

小中学校すべてに特別支援教育コーディネーターを配置して、校内の支援体制をとっています。更に、鹿沼市独自の非常勤講師を配置して、発達障がい及び発達障がいの可能性のある児童生徒に個別の指導計画を作成し、保護者の理解を得ながら、よりよい学習環境が提供できるよう

にしています。

デージー教科書は、発達障がいの中でも特に読むことが苦手な児童生徒に有効で、学校でもそのような児童生徒に使用されています。今後、有効性を検証していきたいと考えています。

障がい児への支援は、乳幼児期から学齢期、就労に至るまで途切れない支援が必要と考えています。今後も保健、福祉、医療、教育の関係機関の連携を図りながら、一貫した支援システムの構築に向けて充実を図っていきます。

デージー教科書とは

平成20年9月17日施行の「教科用特定図書普及促進法（教科書バリアフリー法）」と「著作権法第33条の2」の改正により、LD（学習障がい）等の発達障がいや弱視等の視覚障がい、その他の障がいのある児童・生徒のための「拡大教科書」や、デジタル化された「マルチメディアデージー教科書」等が、製作できるようになりました。デージー教科書は、通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声をクリック（同期）させて読むことができるものです。ユーザーは、音声を聞きながらハイライトされたテキストを読み、同じ画面上で絵を見ることもできます。

大島 久幸 議員

安全・安心な教育環境の整備について伺う



質 問
安全・安心な教育環境の整備について伺う。

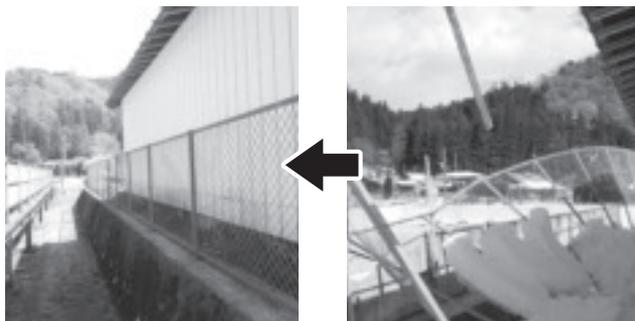
①通学路について
②学校施設について

答 弁
危険箇所には迅速に対応しています。

①教育委員会が各小中学校に危険箇所及び改善が必要な内容について調査を依頼し把握しています。危険箇所は栃木県鹿沼土木事務所、鹿沼警察署、市関係部局と連携して、道路施設の整備、注意喚起のための看板・標識設置等、早期に改修できることから対応しています。歩道

整備等、長期的な計画が必要な箇所は、その間の代替案を検討し、着実かつ効果的な整備をしています。平成25年度については、点検した22カ所全てで対応策または、代替案を決定しました。

②随時各学校から危険箇所について写真を含めたデータの報告を受け、修繕箇所をリアルタイムで把握し、平成25年度から設置した、学校施設作業班等により迅速に対応しています。新たな危険箇所は、簡易かつ小規模な修繕等は学校施設作業班等が、大規模な改修は施設の長寿命化整備と併せて計画的に取り組む考えです。



▲学校施設作業班が迅速に修繕しています。

市職員の建造物侵入容疑と逮捕について伺う



質 問

今後、どのような対策、取り組みを行っていくのか伺う。

答 弁

公務員としての基本的な心構えを再度徹底します。

今回の事件は、法を守る立場にある公務員としてあるまじき行為であり、市民の皆様をはじめ、関係者の皆様の本市に対する信頼を著しく失墜させてしまったことに対し深くお詫びを申し上げます。

職員研修の中に、犯罪を犯さないための研修はありませんが、法令遵守意識は公務員という身分を持つ職員である前に、社会

で生活する一人の人間として当然持たなければならないものと考えます。

倫理意識や服務規律等、公務員としての基本的な心構えを再度徹底するとともに、職員の不祥事により市に及ぼす影響の重大性等について、職員各個人が日頃から意識するように様々な機会をとらえて徹底していきなさいと考えます。なお、3月中にも公務員倫理についての管理監督者研修を実施したいと考えております。



▲倫理意識や服務規律を再度徹底します。

安全・安心なまちづくりについて伺う



質 問

総合的な防災対策を講ずるためのセーフ・コミュニティに取り組む考えはないか考えを伺う。

答 弁

鹿沼市版セーフコミュニティづくりに取り組んでいきたいと考えます。

2月14日からの大雪の際には、交通や通信機能等が不通になり、行政による防災活動が十分に果たせない中、自分たちのまちは自分たちで守るといふ地域コミュニティの防災力が被害の軽減に繋がったと考えます。

鹿沼市では、災害時の被害を軽減させるために、住民一人ひ

とりを直接、あるいは間接的に支える地域の基盤組織である自主防災会の設立を推進してきました。WHOセーフコミュニティ協働センターによる国際認証の取得も防災対策の一つの方法であると考えますが、認証に必要な活動条件の制限や取得費がかかることなど、難しい側面もあります。

鹿沼市としては、今回の経験も生かし、自治会、栃木県、警察等の関係機関と十分連携を図るとともに、地域の皆さんと協力しながら鹿沼市版セーフコミュニティづくりに取り組んでいきたいと考えています。

セーフコミュニティとは

「けがや事故等は、決して偶然の結果はなく、原因を究明することで予防できる」という考えのもと、地域のコミュニティや絆を広げながら、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動。「安全な地域」と訳されるこの活動は、スウェーデンで始まり、一定の基準を満たした地域に対して、WHO（世界保健機関）セーフコミュニティ協働センターが認証を行っています。



教育委員会制度の在り方について伺う



質 問

教育委員会に関する考え方に
ついて所見を伺う。

答 弁
国の動向に十分留意して
まいります。

教育委員会は「地方教育行政
の組織及び運営に関する法律」
に基づき、地域の学校教育、社
会教育、文化、スポーツ等に關
する事務を担当する機関であり、
首長から独立した行政委員会と
して位置づけられています。

この制度は、教育における政
治的中立性、継続性、安定性の
確保、更には専門家のみが担う
のではなく、広く地域住民の意

向を反映させる必要があるとい
うことから、住民による意思決
定、いわゆる「レイマンコント
ロール」といった点が特性とし
て挙げられています。

自由民主党教育委員会制度に
関する小委員会の改革案は、自
治体の長の関与を強めるものと
なっていますが、一方で教育委
員会を教育行政の執行機関とし
て位置づけ、政治的中立性を確
保するなどの配慮も伴う内容と
なっています。今後も教育委員
会は地域住民の意向の反映や政
治的中立性を確保した教育行政
を執行していく上で必要と考え
ます。

農業行政について伺う



質 問

新たな農業・農村政策につい
て伺う。

① 農業者に与える影響を示せ。
② 対策を示せ。
③ 農地中間管理機構に対する本
市の対応を示せ。

答 弁
国の制度に対応した施策
を進めます。

① 平成26年度から、米の直接
支払交付金が半減し、更に米価
が下がった場合の米価変動補て
ん交付金は廃止になります。認
定農業者は、米・畑作物の収入
減少影響緩和対策に加入できる
ので補てん等がありますが、そ

れ以外の農家は影響をそのまま
受けることとなります。

② 補助金額が減少するので、
生産費抑制のためコスト削減を
徹底しなければなりません。が、
原材料費の高騰、消費税増税等
により削減できる経費は限られ
るのではないかと考えます。

③ 農地中間管理機構の業務委
託のうち、農用地利用配分計画
の策定は、市以外は受託できま
せんが、農地の借受け、管理、
貸付けは農地利用集積団滑化団
体として実績のある鹿沼市農業
公社が受託することになるもの
と考えます。



▲平成26年度から農業の行政施策が大きく変わりました。

教育委員会とは

教育委員会は都道府県及び市町
村におかれる合議制の執行機関で、
教育、文化、スポーツの振興等幅
広い分野にわたる教育行政を一体
的に推進していく上で、教育委員
会制度は重要な役割を担っていま
す。教育委員会は教育行政の基本
方針や重要施策の決定を行います
が、一般人（レイマン・Layman）
である委員の合議により、総合的
な観点から基本方針の決定を行う

ことが期待されています。
そして、教育行政に関して十分
な力量を有する専門家としての教
育長の設置が定められており、教
育長は教育委員会の指揮監督の下
に、教育委員会の権限に属するす
べての事務をつかさどることとさ
れています。また、教育委員会の
権限に属する事務を実際に処理さ
せるため、事務局が置かれます。

小島 実 議員

森林資源の活用について
伺う



質 問

「木の駅プロジェクト」について考えを伺う。

答 弁

実施団体に対する具体的な支援策を検討します。

この事業は、森林整備と地域活性化につながるものと認識しています。プロジェクトは、供給体制の確立や原木購入店の確保、価格の設定等、仕組みづくりが大切で、全国で意欲のある団体が取組みを始めています。「木の駅プロジェクト」は地域の環境整備や地域振興に寄与する事業であり、プロジェクトを設立する組織に対しては「とち

ぎの元気な森づくり県民税事業」を活用し支援することができると考えます。

プロジェクトを実施している地域では、地域の森林整備を推進するとともに、地域専用の地域通貨券の発行、利用による商業振興を図っています。本市でもプロジェクトを推進する団体の意向を確認しながら、商業団体との連携による事業実施について、具体的な支援策を検討したいと考えます。

「木の駅プロジェクト」とは

市場に出荷できない間伐材等の木材を山林所有者が「木の駅」に出荷すると地域通貨が支払われる仕組みです。所有者が山の手入れをする機会を増やして、山林に放置された未利用木材を搬出し、山林を整備するとともに、地域経済の活性化を目指します。「木の駅プロジェクト」は高知県のNPO法人が始めたもので、全国で展開されています。栃木県内では那珂川町で平成26年より実施しています。



谷中 恵子 議員

極瀬川の整備について伺う



質 問

極瀬川の整備方針、整備スケジュールを伺う。

答 弁

平成26年度中に工事に着手します。

極瀬川は、木工団地南端から茂呂、石川地内を流れ、宇都宮市及び壬生町を南下し、一級河川黒川へ流入する普通河川です。河川の断面が小さく、台風や集中豪雨時には、たびたび溢水被害を引き起こしています。事業期間の短縮と事業費の縮減を念頭に、本市域内で完結する対策を検討してきたところ、県道宇都宮線と市道0029号線の間

の極瀬沼の底地を国から無償で譲り受けられたので、遊水池を整備し、極瀬川流域の雨水対策を図ることにしました。遊水池は河川の水位が上昇した際、流量の一部を流入させて河川流量を減らすことができ、治水上極めて有効な手段と考えます。事業説明会を開催し、地元関係者との合意形成を図り、平成26年9月を目標に基本設計を策定する予定です。年内に詳細設計を行い、平成26年度中に第一遊水池の工事に着手したいと考えています。なお、第二遊水池については基本設計の結果を見ながら進めます。



▲遊水池の整備が始まります。

佐藤 誠 議員

芳田 利雄 議員

新庁舎整備について伺う



リフォーム助成制度について伺う



質 問
 新庁舎を栃木県上都賀庁舎と共同で整備する考えはないか。

答 弁
共同整備は難しいと考えます。
 栃木県上都賀庁舎の整備は、建替えに向けて基本方針がまとまり、基本計画を策定中で、平成26年度中に設計業務を実施すると伺っています。合築については鹿沼市庁舎整備検討委員会で、委員からの提案もあり、協議されたと聞いています。しかし、本市庁舎の整備方法、位置決定までのスケジュール、庁舎規模の増大への懸念等、不透明

質 問
 商店、住宅のリフォーム助成制度の検討、見直しを行い、地域活性化に活用すべきと考えられるかどうか。

答 弁
効果のある制度になるよう引き続き検討します。
 店舗の改装には、市の制度融資の設備資金、小口元気アップ資金を利用できるほか、個店整備事業として、商店のシースルーシャッターやサインの設置に対する補助制度があります。今後、個店整備事業の見直しのなかで検討したいと考えます。住宅リフォーム制度は、県内

な部分があることから、それぞれ単独で整備する方向になり、合築による共同整備は難しいと考えています。

庁舎候補地も含め、庁舎整備基本構想の策定に必要な事項について、平成25年度内に鹿沼市庁舎整備検討委員会から答申を受けるとの予定です。答申に基づき、平成26年度に全庁的な推進体制を整えて、基本構想を決定します。その後、車座集会を活用した地区別説明会、関係団体との懇談会、パブリックコメントの実施等、多くの機会をとらえて市民の合意形成を図っていきたいと考えています。

他市に先駆け平成23年度に開始し、市内住宅関連産業の振興に一定の効果があつたと考えています。東日本大震災や大雨洪水災害等による被害住宅の復旧には、特例措置を設けて対応しました。今回の大雪被害に対しても、この特例措置が適用されません。

今後は地場産材活用促進等の視点も加え、既に補助を受けている人との公平性、制度開始から一定期間を置くことの必要性を考え、より効果のある制度になるよう引き続き検討をしていきます。



▲平成26年度に基本構想を決定します。

鹿沼市住宅リフォーム助成事業補助金とは

市内事業者による住宅のリフォーム工事を行う場合、その経費の一部を助成することで住宅関連産業の振興を図るとともに、居住環境の向上を図ることを目的としています。20万円以上の住宅のリフォーム工事を実施する方（鹿沼市民に限る）が対象です。工事着工前の認定申請（市に対する届出）が必要です。また、自然災害により被災した住宅や水害による床上浸水、がけ崩れ等による住宅への土砂の流入により被災した住宅を復旧するためにリフォーム工事を行う場合、従来の制度を拡充した特別措置が適用となります。詳しくは、担当の受付（経済部産業振興課）窓口までお問い合わせください。



定例会で人事や意見書の提出が決まりました。

人事

本会議で人事が決まりました。

鹿沼市監査委員

高田 悦夫（たかだえつお・上日向）

▶用語解説「監査委員」

監査委員会は、市長から独立した行政委員会の一つで、地方公共団体の予算の執行や財産の管理、地方公営企業の経営のほか、一般行政事務について、公正で効率的な運営が確保されているかどうか点検を行う。委員は市長が議会の同意を得て、人格が高潔で、自治体の財産管理、事業の経営管理その他行政運営に関し、優れた識見を有する者および議員のうちから選任する。

鹿沼市固定資産評価審査委員会委員

翠田 勝（みどりたまさる・東町）

▶用語解説「固定資産評価審査委員会委員」

固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格に関する納税者の不服を公正、中立な立場で審査決定するため、地方税法に基づき設置された第三者機関。委員は、鹿沼市の住民、市民税の納税義務者、または固定資産の評価について学識経験を有する者の中から、議会の同意を得て市長が選任する。

意見書の提出

議員案3件を可決し関係機関に送付しました。

■議員案第2号 新聞の軽減税率を求める意見書の提出について

下記の実現を強く要望する。

- ①消費税増税にあたり複数税率を導入すること
- ②新聞への軽減税率を適用すること

■議員案第3号 国民の祝日「山の日」の制定を求める意見書の提出について

山の恩恵を将来にわたり享受できるよう、国民全体が山に感謝し、山を守り育てていく気運を醸成していくことが大切である。国においては、国民が山の役割や恩恵に感謝するとともに、山を国民共通の財産として守り育てる意識の向上を促す契機とするため、国民の祝日として「山の日」を制定するよう強く要望する。

■議員案第4号 TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書の提出について

平成25年12月にシンガポールで開催されたTPP閣僚会合では、市場アクセス、知的財産、環境、国有企業などの難航分野で各国の隔たりが埋まらず、年内妥結を断念し、引き続き協議を続けていくこととなった。

今後とも国益をかけたきわめて厳しい交渉が続くと予想されるが、政府はいかなる状況においても、現在の姿勢を断固として貫かなければならない。

他方、交渉が大詰めを迎えた今もなお、交渉内容についての十分な情報は開示されないままである。TPPは、農林水産業のみならず、食の安全、医療、保険、ISDなど国民生活に直結する問題であることから、国民に対する情報開示は必要不可欠である。以上を踏まえ、政府に対し、TPP交渉において下記の事項を必ず実現するよう、強く要請する。

- ①TPP交渉において、衆参農林水産委員会決議等を必ず実現すること。
- ②TPP交渉に関する国民への情報開示を徹底すること。

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

請 願 書

紹介議員 今宮 三男
氏 名 鹿沼 太郎

件名 ○○○○について
要旨 ○○○○の△△に関する
××を要望します。
理由 □□□□□□□□
□□□□□□□□
□□□□□□□□
□□□□□□。

平成○○年○月○日
鹿沼市議会議長様

請願人代表
鹿沼市○○町○○番地○
鹿沼 太郎 (印)

常任委員会等の活動報告

議会運営委員会

- 1月21日 岩手県 北上市 「議会運営について」「議会の広報広聴活動について」
- 1月22日 青森県 五所川原市 「議会運営について」「予算決算特別委員会の審査活動について」「議会だより編集特別委員会の活動について」

北上市議会は平成23年12月に議会基本条例を制定しており、議会報告会の実施と、市民への広報広聴活動の充実を規定しています。その実践として鹿沼市議会と同様に、市民の多様な声を聞き、それを積極的な政策形成、提案につなげていくため「議会報告会」を開催しています。市民を対象に行う「市民と議会をつなぐ会」、市内の各種団体を対象に、所管する常任委員会が行う「テーマ別意見交換会」の2体制で行っています。開かれた議会をめざす特色ある取組みとして、参考にすべき点が多いと感じました。



文教民生常任委員会行政視察

- 1月15日 福岡県 大牟田市「休日夜間診療について」
- 1月16日 佐賀県 武雄市「図書館の運営について」
福岡県 筑前町「第1期特定健康診査等実施計画について」

「武雄市図書館」は平成25年4月にTSUTAYAで知られる「カルチャ・コンビニエンス・クラブ」を指定管理者とし、図書カードにTポイントカードを導入したり、スターバックスカフェを併設したりとこれまでの公立図書館のイメージを覆す運営をしています。図書館は新しい文化や、ライフスタイルが生まれる場所、まちづくりの拠点であり、文化の発信拠点でもあります。だからこそ利便性や、居心地の良い空間を官民が連携して追及していることが伝わってきました。武雄市の図書館は、進化する公立図書館か、公設民営のブックカフェか議論の分かれるところでもあります。行政、教育関係者にもぜひ判断していただきたい施設の一つであると思いました。



文教民生常任委員会栗野第一小学校現地視察

- 4月17日 栗野第一小学校

栗野第一小学校は、栗野財産区から無償譲渡された樹齢50～60年の杉約5,000本を使用し、平成24年度木造による校舎改築に着手しました。木造2階建て、延床面積3,034平方メートルの校舎がこのほど完成し、文教民生常任委員会が現地を視察し、鹿沼産材をふんだんに使った、真新しい校舎、教室、設備の状況について担当職員から説明をうけました。

木のぬくもりを感じられる暖かみのある施設であるばかりでなく、耐震性、安全性にも配慮した、子どもたちにとって素晴らしい学習環境が整いました。



森林・林業活性化議員連盟

- 2月14日 茨城県常陸大宮市「木の駅プロジェクト美和」

本連盟は、森林のもつ公益的機能を重視しつつ、自然環境としての森林の保全と、林業、林産業の活性化を図ることを目的に活動しています。今回は常陸大宮市美和地区の「木の駅プロジェクト美和」を視察しました。美和地区は全国の多くの山村と同様、過疎化、高齢化が進み、森林の荒廃が課題となっています。地域の衰退に危機感を抱いた地元有志が「木の駅プロジェクト美和実行委員会」を立ち上げ事業を実施しています。この取り組みは、森林整備の推進と地域の活性化に大きな貢献をするだけでなく、地域住民の交流の活性化にも寄与していることがうかがえました。

※「木の駅プロジェクト」については10ページをご参照ください。



提出議案について 議員の賛否を公表

市長提出議案39件、議員提出議案4件が提出されました。
議員数25名、表決参加議員数24名（議長は表決には加わりません。）

全議員が賛成した議案

平成26年度
予算

- 議案8 平成26年度鹿沼市介護保険特別会計予算
予算総額を72億2,100万円
- 議案9 平成26年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計予算
予算総額を9億3,730万円
- 議案10 平成26年度鹿沼市財産区管理会特別会計予算
予算総額を1,474万円

平成25年度
補正予算

- 議案12 平成25年度鹿沼市一般会計補正予算
8,841万4千円の減、総額403億587万4千円
- 議案13 平成25年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算
1億8,013万8千円の増、総額117億4,460万8千円
- 議案14 平成25年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計補正予算
488万8千円の増、総額26億1,502万円
- 議案15 平成25年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計補正予算
歳入予算の更正
- 議案16 平成25年度介護保険特別会計補正予算
98万7千円の増、総額70億856万8千円
- 議案17 平成25年度鹿沼市財産区管理会特別会計補正予算
226万6千円の減、総額213万4千円

その他

- 議案18 上久我辺地に係る総合整備計画の策定
辺地内の公共施設の整備に必要な財源を確保するためのもの。
- 議案19 上・中粕尾辺地に係る総合整備計画の変更
辺地における計画事業の変更を行なうためのもの。
- 議案27 鹿沼市土地開発公社の解散（15ページ参照）

工事請負、市道路線、町・字

- 議案20 工事請負契約の締結（15ページ参照）
- 議案21 字の廃止並びに町及び字の区域の変更
県営深津地区土地改良事業の区域内の字を廃止し、町、字の区域を変更する。
- 議案22 字の廃止並びに町及び字の区域の変更
県営小倉地区土地改良事業の区域内の字を廃止し、町、字の区域を変更する。
- 議案23 字の廃止並びに町及び字の区域の変更
県営小代地区土地改良事業の区域内の字を廃止し、町、字の区域を変更する。
- 議案24 市道路線の認定
都市計画道路3・4・2号南大通り道路整備事業に伴い、新たに築造された道路を市道として認定する。
- 議案25 市道路線の廃止
武子地内の道路形態のなくなった市道を廃止する。
- 議案26 市道路線の変更
富岡、深津地内の市道の終点変更、御成橋町2丁目地内の市道の起点変更。



賛否の分かれた議案

- 議案1 平成26年度鹿沼市一般会計予算（15ページ参照）
- 議案2 平成26年度鹿沼市国民健康保険特別会計予算
予算総額を113億5,000万円
- 議案3 平成26年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計予算
予算総額を26億100万円
- 議案4 平成26年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計予算
予算総額を2億9,360万円
- 議案5 平成26年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計予算
予算総額を1,920万円
- 議案6 平成26年度見沼霊園事業費特別会計予算
予算総額を5,160万円
- 議案7 平成26年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計予算
予算総額を2億1,380万円
- 議案11 平成26年度鹿沼市水道事業会計予算
収益的収入、支出は収入総額14億2,363万5千円、支出総額12億691万7千円、資本的収入、支出は、収入総額3億7,199万2千円、支出総額9億1,866万4千円計上

賛
成
反対

- 【政和会】小林充・谷中恵子・関口正一・橋本正男
- 【自由民主党】筧則男・赤坂日出男
- 【公明党】荒井正行・鈴木敏雄
- 【明峰】津久井健吉・増淵靖弘・横尾武男・富久田耕平
- 【みんなの党】館野裕昭・小松英夫
- 【無所属市民の会】大島久幸・船生哲夫
- 【市民ネットワーク】大貫毅・塩入佳子・小川清正
- 【無所属】鰐原一男 【無所属】佐藤誠
- 【未来クラブ】小島実・湯澤英之
- 【日本共産党】芳田利雄



議員案2 新聞の軽減税率を求める意見書の提出

賛
成
反対

- 【政和会】小林充・谷中恵子・関口正一・橋本正男
- 【自由民主党】筧則男・赤坂日出男
- 【公明党】荒井正行・鈴木敏雄
- 【明峰】津久井健吉・増淵靖弘・横尾武男・富久田耕平
- 【みんなの党】館野裕昭・小松英夫
- 【無所属市民の会】大島久幸・船生哲夫
- 【市民ネットワーク】大貫毅・塩入佳子・小川清正
- 【無所属】鰐原一男
- 【未来クラブ】小島実・湯澤英之
- 【日本共産党】芳田利雄
- 【無所属】佐藤誠



条例の一部改正

議案28 鹿沼市個人情報保護条例

個人情報の開示請求に対する非開示情報に、法定代理人に開示することが本人の利益を害すると認められる情報を追加、訂正等の請求に係る基準の明確化。

議案29 鹿沼市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

障害程度区分認定調査員の職名を障害支援区分認定調査員に改める。

議案30 鹿沼市長等の給与及び旅費に関する条例

公職選挙法の一部改正に伴い、市長及び副市長の期末手当に係る支給の基準を整理する。

議案31 鹿沼市長等の給与の特例に関する条例

平成26年4月から平成27年3月まで、市長、副市長、教育長の給料月額を100分の10相当額減額する。

議案32 鹿沼市手数料条例

危険物の製造所等の設置許可等に係る手数料を改定

議案33 鹿沼市子ども医療費助成に関する条例

医療費助成の現物給付の対象を小学校就学前の子どもまで拡大する。



条例の一部改正

議案34 鹿沼市と栃木県信用保証協会との損失補償契約に基づく回収納付金を受け取る権利の放棄等に関する条例

産業競争力強化法の施行に伴い、引用する法律の題名、条項を整理する。

議案35 鹿沼市市営住宅条例

家賃の減免対象に、婚姻によらないで父または母となった入居者が未成年者を扶養している場合を加える。

議案38 鹿沼市一般職の職員の給与に関する条例等

持ち家に居住する職員への住居手当を廃止し、時間外勤務手当、休日勤務手当の計算方法の見直しを行う。

議案39 鹿沼市都市公園条例

三幸町地内に小藪川公園、花岡町地内に段の浦公園及び浅間公園、東町1丁目地内に東町街区公園を設置する。

人事

議案36 鹿沼市監査委員の選任 (12ページ参照)

議案37 鹿沼市固定資産評価審査委員会委員の選任 (12ページ参照)

議員提出議案

議員案 1 市行政推進調査特別委員会の設置

議員案 3 国民の祝日「山の日」の制定を求める意見書

議員案 4 TPP (環太平洋連携協定) 交渉に関する意見書 (12ページ参照)

注目議案の解説

クローズアップ

鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～笑顔あふれるやさしいまちづくり～

鹿沼市の新年度の予算です。

■議案第1号 平成26年度鹿沼市一般会計予算について

400億8,000万円、対前年度比1.8%増の経済動向等に配慮した予算です。LED防犯灯の交換補助、庁舎整備の基本計画、南押原コミュニティセンターの整備等、都市基盤の整備促進に取り組みます。新規事業としては、防災マップの改定、骨髄ドナー支援事業費補助金の創設、学校給食におけるアレルギー対策としての施設改修等、教育及び福祉の充実を図ります。



▲南押原コミュニティセンター

～市道冠水危険箇所の整備～

導水管を布設します。

■議案第20号 工事請負契約の締結について

市道0017号線冠水対策事業導水管布設工事の事後審査型条件付き一般競争入札を、去る1月31日に実施した結果、佐田・山和特定建設工事共同企業体が3億3,841万8千円で落札したので、契約を締結するためのものです。道路の排水機能を向上させ、道路冠水による事故の防止を目的としています。



▲道路冠水による事故を防止します。

～清算法人として、清算に関する手続きを行います～

鹿沼市土地開発公社を解散しました。

■議案第27号 鹿沼市土地開発公社の解散について

鹿沼市土地開発公社は、昭和47年に施行された「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づき昭和48年7月に設立され、公共用地の先行取得、造成事業等を行ってきました。

しかし、平成21年8月に総務省から発出された「土地開発公社の抜本的改革について」等の通知に基づき検討した結果、鹿沼市でも全国的な地価下落の影響により用地の先行取得の意義が薄れているため鹿沼市土地開発公社を解散することになりました。



議会からの お知らせ

大雪による被害復旧等に対する要望書を提出しました。

2月14日～15日にかけての大雪は、本市のみならず日本各地に甚大な被害をもたらしました。本市においては幸い人的被害はなかったものの、積雪や倒木等による道路の被害だけでなく、市内広範囲で大規模な停電、電話線断線による通信障害等により孤立した地域も発生し、市民生活に大きな影響を与えました。

議会では、2月24日に議長から市長に対して、今後の復旧に向けて各種支援策を速やかに進め、国や県の支援策の活用

と併せて迅速で手厚い対策を実施するとともに、今回の経験を生かした災害時の対応を検討し、市民が安全で安心して暮らせるよう特段の措置を講じるよう要望しました。



認知症サポーター養成講座に参加しました。

2月20日から5回にわたり開催された市職員対象の「認知症サポーター養成講座」を受講しました。この講座は、市職員が率先して認知症の基礎を学ぶことにより、認知症の方やその家族に接した時に温かい対応ができるようにするとともに、市民の認知症に対する理解及び意識啓発につなげることを目的に開催しています。「認知症サポーター」とは認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらい、だれも

が暮らしやすい地域をつくっていくボランティアです。市内には現在約2,800人、市職員では約300名のサポーターがいます。地域全体にサポーターが増えれば、認知症の方の穏やかで尊厳ある暮らしを守るができます。

今回の講座には21人の議員が参加し「認知症サポーター」になりました。



議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

5月	6月					
月	火	水	木	金	土	日
5/26	27	28	29	30	31	6/1
10:00 議会運営委員会						
2	3	4	5	6	7	8
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明						
9	10	11	12	13	14	15
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問		
16	17	18	19	20	21	22
	10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決		
23	24	25	26	27	28	29

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

議場にいけばなを展示しました。

3月議会一般質問の3日間、鹿沼市いけばな愛好会の会員の方々による作品が議場を彩りました。桃の節句を意識した季節感あふれる作品で、議場に春を運んでくれました。



表紙の写真は

例年6月下旬にかけて、約2,500本の紫陽花が参道や社殿の周囲を埋め尽くす磯町の磯山神社。開花にあわせて開催される「あじさい祭り」の期間中は、咲き誇る紫陽花を求めて大勢の観光客が訪れます。